

① 《安楽寺(馬木二丁目)》

安楽寺は浄土真宗本願寺派(本山は京都の西本願寺)の末寺で、本尊は木像の阿弥陀如来(立撮即行の姿)であり、他に宗祖親鸞聖人、本願寺第八代宗主蓮如上人、聖徳太子、七高僧それぞれの御絵像が安置してあります。安楽寺の本堂は約二百年前、火災で焼失し、現在の建物は享年二年(1802年)に建て替えられたものです。

② 《薬師寺(馬木二丁目)》

安楽寺の横に小さなお堂があります。これが薬師如来を安置した薬師堂です。このお堂はもともと裏山の中にあつたのですが、昭和35年に現在の場所に建て替えられました。

毎年4月20日に法要が営まれます。

③ 《福木尋常小学校馬木分教室跡(馬木二丁目)》

二階建ての校舎で一階が教室で、二階は教員室と物置でした。

この分教室には1年生と2年生のみが登校し、男女共学で合わせて40名足らずの児童が通っており、一人の先生が泊り込みで面倒を見ていた。三年生以上は福田の方へ通っていた。

分教室は明治26年4月から大正12年12月まで30年余り使われていました。

④ 《童免堂(馬木五丁目)》

馬木八幡神社の裏手の山へ向かう道の側にあるお堂が「どうめんさん」です。これを貴船神社とも呼びますが、地元の人達からは「童面さん」の名で古くから親しまれ信仰されています。

安芸町誌には「祭神不明、童面様ともいい、……」となっていますが、御堂の中には、石仏が安置してあり、この石仏については、昔、馬木人々が農耕・野菜栽培などで恩恵を蒙った行脚僧の死を悼んで彫られたものと、言い伝えられています。

童面様のお祭は毎年4月20日です。

⑤ 《馬木八幡神社(旧称) 亀山八幡宮(馬木五丁目)》

護国の神・百姓の神として、文明中年(1469~87年)の創祀と伝えられ、祭神は玉依毘売命(タマヨリヒメノミコト)・神武天皇の母 息長帯毘売命(オキナガタラシノヒメミコト・神功皇后)・品陀和気命(ホムタワケノミコト・応神天皇)の合祭です。

毛利家に篤く尊崇され、特に天正一五年(1587年)二宮太郎右衛門が社殿を再建したとある。又享年間(1716~36年)社殿が改築。昭和八年本殿・幣殿・拝殿を広島工業学校建築科の生徒が二年がかりで改築しました。

お宮の例祭は10月第3日曜日です。

当八幡神社の森はシイの常緑広葉林が主体です。シイ林の多くは人々の手により破壊され、アカマツの二次林に置きかえられてしまい、本社叢のように昔の自然のまま今日に伝えるシイ林は大変貴重な存在となっています。

また、本社叢の南東斜面にかなり多くみられるシイモチは中国地方西部及び九州に分布する常緑高木で広島市より南の山口県下の沿岸部や島々のシイ林中に普通見られますが、広島市付近及びそれ以北ではほとんどみる事が出来ない極めて珍しい樹木です。そのため、この社叢は広島県天然記念物の指定を受けています。